

アメリカ

もくじ

1. 黒人問題
2. 貧富の格差
3. 移民問題

1

黒人問題について

歴史

- ・1619～1865年、約250年間黒人は奴隷制度が続いた。

- ・アメリカの憲法によって、この制度は禁止された。

奴隷とは、身分のない階級として扱われる社会制度のこと。一般的に人格を否定されるなど。

今までにあった出来事

バスや電車、病院などの公共の場でも多くの差別がありました。

例えば、バスや電車の座席は人種ごとに分けられたり、レストランでは、黒人の方への着席サービスの提供がない場合があります。また、白人との結婚ができなかったり、学校が別だったりしました。

黒人問題をなくすための取り組み

SDGs の10に当てはまる「人や国の不平等をなくそう」です。

SDGs とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。

2

貧富の格差

<アメリカ貧困の現状>

「アメリカ人の上位1%の持つ資産は
下位90%の資産と同等」

この言葉自体は問題はありません。ですが、
それと同時に日本とは比べ物にならないほど貧
困層がいるのも現実です。

数でいうと3億人いる人口のうち4000万人
以上の人(およそ6人に1人)が貧困で苦しん
でいるということになります。

<貧富の格差の主な原因>

- ・資本主義の国であり、昔から共産主義を徹底否定し自由経済、自由貿易をしてきた。
- ・「成功したものは大金を手にし、
失敗したものはどん底」
という考えが資本主義の根底にある。

3

移民問題

- ・アメリカであった移民問題の原因には政治、宗教、民族的理由があったが一番に経済的理由があった。

- ・第二次世界大戦後にやってきたヒスパニック系の移民はアメリカで成功を収めたため移民していた黒人は不満に思っていた。

・また多様性を受け入れる社会になっていて、それはとても大切なことだが、不法移民に社会保障を受ける権利はないにしても難民やその他の移民にはそれなりの保障が必要であるため大きく国の財政を圧迫させることにもなっている。

まとめ

- ・移民を受け入れることは大切であるが、それと同時に国の財政を圧迫させる大きな問題であると思う。

参照

黒人問題

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO60100200Y0A600C2I00000/>

貧富の格差

<https://how.match.jp/america/>

<https://minato-intl.com/poverty-in-us>

移民問題

morimura-semi.com

アメリカの移民問題

《アメリカに移民が訪れた理由》

政治、宗教、民族的理由、そして何より経済的理由でアメリカに行った。

《移民が増えたことにより起きたこと》

19世紀の初めから中ごろにかけてやってきたにドイツやアイルランドを中心としたプロテスタンスの移民(旧移民)と19世紀の後半にやってきたイタリア、ユダヤ、ポーランドのスラヴ民族(新移民)の間で宗教の違いついで職業の違いから大きな隔たりがあった。

《移民問題と経済》

移民や難民が増えたことで国の経済は大きく
圧迫した。1970年代以降に不法移民が爆
発的に増えた。そういった不法移民には経済
的補償を受ける権利はないがその他の移民、
難民には受け入れる以上はそれなりの経済
的補償をしなければいけなかったのでアメリカの
経済は大きく圧迫した。

まとめ

- ・移民を受け入れることは大切であるが、それと同時に国の財政を圧迫させる大きな問題であると思う。
- ・リスクを負ってでも母国をでなければならぬ人をなくせる社会にしていかないといけないと思う。

参考文献 morimura-semi.com